

会 議 録

会議の名称	平成30年度 第4回笠間市男女共同参画審議会		
開催日時	平成30年1月26日(金) 午前9時30分～10時40分		
開催場所	笠間市役所2階 庁議室	事務局	市長公室秘書課
会議の公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <非公開・一部公開とした場合の理由>	傍聴者数	なし
出席者	委員：橋本委員、青山委員、多川委員、黒川委員、畑岡委員、大塚委員、安川委員、南雲委員、柴山委員、田村委員、川崎委員、長堀委員、橋本委員、 事務局：塩畑公室長、三次課長、関根		
議題	(1) パブリック・コメントの結果について (2) 第3次笠間市男女共同参画計画案について		
議 事 (審議経過及び発言内容)			
1 開会 2 あいさつ 3 協議事項 (1) パブリック・コメントの結果について 会 長 事務局から説明をしてください。 事務局 (資料に基づき説明) 会 長 意見や質問はありますか。 ※質問、意見特になし (2) 第3次笠間市男女共同参画計画案について 会 長 事務局から説明をしてください。 事務局 (資料に基づき説明) 会 長 意見や質問はありますか。 委 員 裏表紙にある「男女共同参画社会とは…」の説明文で女性(男性)となっている部分があるが、男女共同参画とは女性を強くしていくことと思っている方も多く、そういう印象を強くしてしまうので、表記をかえたほうがよいのでは。 事務局 女性(男性)の部分女性・男性と表記する。 委 員 キラリかさま優良企業の認定は、認定後、再評価することはあるのか。また、少しずつ努力している事業者を考えて認定のランクをつける考えはあるか、またはほかにそういう認定をしている例はあるか。 事務局 毎年、事業者から取組みについて、事業報告を出してもらい、認定要件に該当しなくなった事業所は取り消しとなる。国や県の認定では1つ星、2つ星、3つ星とランク付けしているが、今回市の認定ではランク付けは考えていない。			

会 長	認定後のアフターフォローが大事ではないか。
事務局	これまでの男女共同参画認定事業所においては毎年事業報告を出してもらい、新たな取り組みがあれば事業所一覧のページを更新し、HPで公表している。
会 長	少しずつ努力している事業所も認定したり周知したりするのもよいのでは。
事務局	キラリかさま優良企業認定においては新たに認定した事業所の女性活躍の取り組みについて大々的に広報していくことを考えている。
委 員	指定文化財は、市・県・国と重みづけがあるが、今回の認定で重みづけの違いがないのであれば、同じことを国・県・市もやっていることになり意味がなく不必要な仕事という見方になるのでは。
事務局	これまでの認定事業者も市や県の認定など複数認定を受けている事業者もある。国のえるぼしマークの3つ星が最高ランクの位置づけになると思われるが、そこまでの認定を受けられない企業もあると思うため、市は市で認定していきたいと考えている。
委 員	LGBTの事業は男女共同参画の計画に載せるべきものなのか。これまで審議会で議論していないことを載せていいのか。
事務局	男女共同参画を考えたときにLGBTの方もいるということに触れて言葉そのものを知らない人もいることから用語の解説も入れ、そのような方が差別されないよう進めていきたいと考えている。
委 員	LGBTというくくりの話と男女共同参画が同じ土俵に上がっていいのかどうかといわれると微妙な感じがする。どの概念が正しいのか正しくないのかというのはまだ議論の途上だと思うので、まずは、そういう言葉があるということを知らしめること。男女ではなく、また違う考えが時代とともに変わってきているという意味の啓発ということであれば必要だと思う。
会 長	文科省では学校へ性同一性障害にかかわる児童生徒に対する対応などについても周知したり、研修なども行われたりしている。私たち自身も研修を受けることも必要であり、理解を広げることを掲載するのはいいのではないか。
事務局	庁議のなかでも周知していくべきとの意見が出ていたためご了承いただき掲載したいと考えている。
委 員	9ページのグラフの設問が抜けているため入れたほうがよい。女性が結婚や出産を理由に退職する原因までわかったほうが、施策が打ち出しやすいのでは。
事務局	今回の調査では理由を把握する設問を設けていなかった。9ページのグラフには設問を入れる。
委 員	15ページのグラフをみると18年度はN=600、24年度はN=200と差が大きいため次回の調査では統計の処理という意味で気をつけてほしい。
事務局	18年度の対象者が2,000人、24年度の対象者が1,200人と減ったため回答者数も減ってしまった。次回の調査では郵送に限らずインターネットなどを利用し対象者や回答者数が増えるように検討したい。
委 員	9ページのグラフは15ページのグラフから抜粋しているわけだが数値が異なっている。確認をお願いしたい。
事務局	再度確認し、次回までに修正する。
委 員	取り組み3の子どもからの男女共同参画教育の充実で、30年度は子どもを対象にした意識調査をしたいと事務局から説明があったが、笠間市のいいパートナーの日（11月11

日) や県の月間 (11 月) の前にやってほしい。

事務局 11 月の前に実施するという事で検討する。また、学校で男女共同参画の授業を実施していると思われるので、授業の一環として実施するのも検討したい。

会 長 事務局の方から男女共同参画作品の募集で何かほかに方法はないかとあったが皆さんからご意見をお願いします。

委 員 これまでの応募作品を見ても多くの子どもたちが理解していると思う。それよりも親の世代で理解をしていない人が多いのでは。家庭教育学級などで学ぶ機会を設けて家庭での男女共同参画の推進を図っていくとよいと思う。

会 長 小学生などは自然な形で男女共同参画が進んできていると感じる。親も一緒に子どもと考える場面があってもよいと思う。

4 その他

- ・次回、審議会は2月23日に開催。最終案が決定した後、市長へ答申をし、印刷を行う。計画書は200冊、概要版は4,000部作成する予定。全戸配布を検討したが、広報かさま4月号に計画策定について掲載する予定。

5 閉会